

【実践報告】

「福祉・介護を元気にする会」の現状と課題

棚田 裕二 河内 佑美

Yuji Tanada Yumi Kochi

キーワード 語り合い 学び直し 情報交換 福祉従事者

I. はじめに

「福祉・介護を元気にする会」は2022年度より運営チームを立ち上げ、福祉現場に従事している人、関心のある人およびリーダーとして従事している人々が、日々の困っていることや悩みごとを継続的に語り合い、理解し合える場づくり、さらには、リーダーとして基礎的な学びを支援しサービスの質向上に寄与することを目的とし、勉強会を全8回実施した。参加者には毎回アンケートを実施し、満足度と今後の勉強会へのニーズ把握を目的としておこなった。この取り組みについて考察し、今後の課題について報告する。なお、本会活動の趣旨は、福祉・介護の仕事の魅力を自ら再確認するとともに社会に対してその存在価値をアピールしていく取り組みであり、それらの活動を関係組織・団体の推進方策と連携して行っていくことである。詳細な趣旨および内容については『福祉・介護を元気にする会』の発足と今後の課題¹⁾で述べているため割愛する。

II. 活動方法

4月の運営会議では、2023年度の具体的な活動時期・内容について確認をした。特に、6月、7月および8月に実施予定であった「福祉・介護の学び直し塾」について協議した。「福祉・介護の学び直し塾」の進め方は概ね2時間とし、①30分程度のミニ講演、②60分程度のグループでの話し合い、③20分程度のグループで話し合った内容の共有、④10分程度の総括とした。「組織マネジメント」の勉強会については演習を実施したため、進め方は後述にて紹介する。2023年度の実施スケジュールは表1の通りである。なお、9月の運営会議では活動状況の確認および「組織マネジメント」勉強会の確認、2024年1月では1年間の振り返りおよび2024年度の計画案を協議した。また、2024年度の活動内容については、運営会議のメンバーの意見を中心に、今年度の参加者にもアンケートを実施し、広く意見を聞き取った。

運営会議の様子



表1 「福祉・介護を元気にする会」 実施スケジュール

	日程	内容
1	4月22日(土) 13:30~15:30	運営会議
2	6月3日(土) 13:30~15:30	学び直し塾
3	7月22日(土) 13:30~15:30	学び直し塾
4	8月19日(土) 13:30~15:30	学び直し塾
5	9月9日(土) 13:30~15:30	運営会議
6	10月28日(土) 10:00~12:00	組織マネジメント勉強会
7	10月28日(土) 13:30~15:30	学び直し塾
8	11月25日(土) 10:00~12:00	組織マネジメント勉強会
9	11月25日(土) 13:30~15:30	学び直し塾
10	12月16日(土) 13:30~15:30	組織マネジメント勉強会
11	2024年1月27日(土) 13:30~15:30	運営会議

Ⅲ. 実践報告

2023年度は学び直し塾の勉強会を全5回、組織マネジメントの勉強会を全3回実施した(表2)。参加者は廿日市市を中心として福祉に携わっている、介護職、地域包括支援事業所、公民館、福祉施設の施設長、社会福祉協議会、社会復帰促進センター、教員、廿日市市役所など多岐にわたる職種の人に参加した。参加費は1人300円とし、気軽に参加できる雰囲気づくりに心がけた。広報は運営会議のメンバーや参加者から口伝えで案内をしてもらう方法をとった。

学び直し塾においては、1回目から3回目までは福祉の原点を問い直す内容で行った。4回目は社会復帰促進センターにおける仕事、5回目は生活困窮者に関わる支援について勉強会を行った。参加者からは、「普段仕事で走っている感がありで、改めて立ち止まって考え大切なことを確認した」、「施設内の考えで偏ってしまっていると気づけた」、「ケアとは・・お話を聞きし、現場の皆に伝えていきたいと感じた」、「ひと・施設の繋がりを感じた」、「何をするかではなく、どういう姿勢で向かい合うかが大切という言葉が印象に残った」、「地域についての整理や課題が明確になり良かった」、「利用者目線で考えることを再認識できたことが良かった」などの感想があった。学び直し塾で実施した内容が、福祉における大切な理念等を確認する場となったことがうかがえた。

学び直し塾1回目の様子



学び直し塾2回目の様子



組織マネジメントの勉強会において全3回実施した。福祉現場でのチームを円滑に運営していく上で、欠かせないリーダーシップとマネジメントについての学びの場を開催した。1回目と2回目を原則、連続参加とし、課題をもとに演習へとつなげた。3回目は組織マネジメントの勉強会のまとめとして、福祉施設の組織マネジメントについての勉強会を行った。1、2回目についてはケース教材をもとにケースメソッドと呼ばれる手法を用いて討議を行った。討議で用いるケース教材には訓練主題が埋め込まれており、参加者は顕在的・潜在的な要因を討議し、解決策を相互に模索することで、自らの問題分析力や意思決定力を向上させる目的がある。また、このケースメソッドを進めるにあたり、ディスカッションリードと呼ばれるファシリテーターの役割が存在する。討議する内容およびそのプロセスの双方をつかさどる能力を必要としている。²⁾ ケースメソッドを通して参加者からは「今、自分にとってとても必要な研修だった。すべての研修に参加して職場で生かしたい」、「中堅職員と呼ばれる年数（勤務6年目）になって組織のリーダーとしてどのようにふるまうのか、どのような意識や知識を持っておくよのが学ぶことができた」、「現場での課題に対する改善策のポイントを学ぶことができた」、「ユニットリーダーとして日々悩み考えていたことに対して活用できるお話がたくさんあった」とあり、現在、各々が抱えている葛藤を少しでも解消できる機会となったことがうかがえた。

表 2-1 「学び直し塾」実践報告

	開催日程	研修内容	参加者数 (人)
1	6月3日(土) 13:30~15:30	地域福祉から見た私の仕事のやり甲斐と課題 講師: 蛭江紀夫氏	40
2	7月22日(土) 13:30~15:30	はつかいちの福祉・介護の今と昔をつなぐ 講師: 蛭江紀夫氏	38
3	8月19日(土) 13:30~15:30	福祉の職場の難しさと面白さ コーディネーター: 棚田裕二氏 シンポジスト: 岡村朋子氏(施設高齢分野) 長谷藤珠実氏(在宅高齢分野) 矢部貴志氏(障害分野)	30
4	10月28日(土) 13:30~15:30	社会復帰促進センターにおける私(ソーシャルワーカー)の仕事 講師: 島根あさひ社会復帰センター 職員 内田真利子氏	26
5	11月25日(土) 13:30~15:30	生活困窮者支援に関わる伴走者 発題者 野村大輔氏(廿日市市社会福祉協議会 はつかいち生活支援センター) 村上梢氏(廿日市市役所健康福祉部生活福祉課)	12

表 2-2 「組織マネジメント」実践報告

	開催日程	研修内容	参加者数 (人)
1	10月28日(土) 10:00~12:00	チームの力を引き出すリーダーシップ I 講師 鹿見勇輔氏	21
2	11月25日(土) 10:00~12:00	チームの力を引き出すリーダーシップ II 講師 鹿見勇輔氏	21
3	12月16日(土) 13:30~15:30	福祉・介護現場における組織論 講師 蛭江紀雄氏	15

IV. まとめ

今回、「福祉・介護を元気にする会」の内容を考えていくにあたり、高齢、障害、児童などのどの分野の職種でも根底には「社会福祉」の学問が精通していることを学び直す機会とした。アンケートの自由記述には「意味と価値を再確認することで明日からも頑張ろうと思えた」、「他事業所の方と話すことで

偏った考えになっていると気が付いた」、「色々な職種の方とお話する機会があって、悩みを共有できてよかった」などの感想があり、会の目的に沿った、勉強会を開催できたと考える。また、参加者の所属の分野、役職さらには経験年数も様々であった。そのため、「幅広い意見を聴くことができた」という感想があった。このような学びの場で、様々な職種が集える場づくりも、視野に入れて考えていきたい。今後、この会の目的である「継続的に語り合い」、「理解し合える場づくり」場として、意見交換の時間を確保することや活用することについて模索していく必要があると考える。

文献

- 1) 棚田裕二ほか(2023)『「福祉・介護を元気にする会」の発足と今後の課題』広島文教大学人間福祉学会紀要,21,27-32.
- 2) 高木晴夫ほか (2010)『ケースメソッド教授法入門』慶応義塾大学出版会。
- 3) 鹿見勇輔 (2023)『福祉・介護を元気にする会 組織マネジメント講座第2回 チームの力を引き出すリーダーシップ』資料